



ここに古はインタビュー 20

ゲスト

竹村 亜希子 さん

AKIKO TAKEMURA

プロフィール
愛知淑徳高校卒。(有) 古い玉手箱代表。古
いのスタッフ40名を、古いをビジネス化し、イ
ベント企画、新聞・雑誌・ラジオの古いコーナ
ー、講演、執筆などに幅広く活躍中。講談社
「フライデー」の古いコーナーや、岐阜未来博
の「世界古い館」パビリオンの企画プロデュ
ースは有名。

私達はよくツイテナイとかツイテルとか言
いますが、ツキを呼ぶ方法はありませんか？
「ツキ」というのはあります。ツイテナイと
思う人はツイテナイ。それは、一見ツイテナ
イと見えることが、ツキを呼ぶものだとい
うことがわかってないから。例えば雨が降った

「いいことがあるぞ、と思うと、
本当にいいことが起るんです。」

よって本当に流れが変わるの」

いい方へいい方へとらなきゃいけない？
「いや、とらなきゃいけない」となる、
無理やり思うプラス発想になるでしょ。無理
やりじゃなくて、本当に起るの。予定外の
ことがあると、ちょっと待てよ。これは何か
いい事があるぞと思うと本当に起るの」

中々そう思えない人はどうしよう？

「クセにするの。ツイテルと思おうといひん
です。簡単ですよ。最初は意識してやると、
でもそのうち無意識でそうなる。何でもそうじ
やない。水泳でも車の運転でも」

悩み事、困り事があると、つい人は古いに
頼りたくなりますが……

「頼ったのでは解決になりません。例えば
困ったことが起きた場合、起きた問題は消え
ない。時間を戻すことはできないから、なか
ったことにはできない。だとしたら、事実を
直視して、起きたことを受入れ、そこからじ
やあ、どうして解決しようかと、本人が客観
的になって事実を受入れ、悩むんじゃない
解決することが大事。怖いのは問題が起る
ことじゃなくて、それを処理する能力がない
ことなのよ。世の中いたしたくないから、ま
ず事実だけ見る。そうすれば古いは必要ない
わけ。そこまでの作業がわかっついて、なお
自分でやっていると大変だから手伝ってよ、と
いう場合にお手伝いするわけですよ」

コンサルタントみたいですね

「そう、弁護士や税理士に相談するのと同
じ。私はソフト情報産業だと思っています」

企業からの依頼も多いそうですが、どんな
相談を受けられるのですか？

「このプロジェクトはどうか、契約ごとの
問題は起きないか、会社移転はどの場所とい
いか、後継者交代の時期は、海外進出はいい
かとか、経営者の中には退くことはマイ
ナス発想で、よくないことだと思ひこんでる
人がいる。しかし、プラス発想が必ずしもよ
くないわけ。真のプラス発想は臨機応変だと
思ひますね。大自然には春夏秋冬ありで、し
いつも春だと困る。冬に一度還元して春が
また来るわけですから。常に中度を求めると、
ネジが切れちゃう。時流に合わせて退くべ
き時もある。二年後にはとめても五年後に潰
れては困る。今お金がからっぽになって、よ
り財になって返ってくる場合もあるんです」
それにしても古いは面白い。極端に気にす
る人もいますが……

「気にする人はいちばん当たるんです。ち
よつと高級な使い方はなるけど、悪いと出ても
ただ気にしないというのでなくて、右に行く
と左は水たまりがある。でも、今日はどう
しても右に行用事があるから、その水たまり
に気をつきよと注意すればいいんです。
方法にはホンと飛び越す方法もあれば、長靴
をはいていく方法、それだけ上手によけて行
く方法がある。古いは単なる情報の一つです
からうまく利用すればいい」

論理的で明快。カラッと明るい古い師、竹
村さん。私達も古いをもっと上手に利用した
ら、もっと運が開けるのかも。そんな気にな
せられました。